

# くつろぎ タイム

稲荷タクシー有限会社(太白区中田)  
代表取締役専務  
仙台商工会議所1号議員

ももの としふみ  
**桃野 智文 氏**

昭和34年10月21日生まれ  
仙台市出身  
血液型A型

昭和57年東北学院大学経済学部経済学科を卒業後、横浜市にあるタクシー会社に入社。5年後、仙台に戻り、祖父が興した稲荷タクシー(有)に入社。半年後、石巻の傍系の会社に異動となり、5年ほど勤務して本社へ。現在に至る。一般社団法人宮城県タクシー協会総務委員長、同仙台地区総支部副支部長および総務委員長を兼務し、多忙な毎日を送る。

ストレスをため込まない性格ですが、  
時間ができたら、ゆっくり旅行がしたいですね。  
公共交通機関の一員としての  
使命を果たしていきたいと思います。

365日、24時間稼働するタクシー業に従事されていることから、お休みは日曜日一日だけと伺いましたが。

休みが一日というのは、いまに始まったことではなく、前社長の私の父もそうでしたので、「こういうものなのだ」といった感覚で受け止めています。ですから、「もっと休みたい」と思うことはありませんし、ストレスにもならないのだと思います。ストレスをあまり感じないというのは、元来の私の性格なのかもしれません。それに、私の仕事の性質上、自分でちよっとした空き時間をつくるのが可能ですし、比較的自由に休みの日をつくることもできるので、不便や不満を感じたことはないんですよ。うちの会社は長く働いてくれている社員が多いので、家族のような感じで仕事を頼みやすい、安心して仕事を任せられるというのもあると思います。

気持ちの切り替えが上手な  
んです。

そうかもしれません。仕事の合間にコーヒを飲みながらひと息ついているときも、外回りの前に新聞に目を通していているひとときも、一日の終わりに風呂に入っているときも、気持ち切り替わったり、リフレッシュしていくのが実感できるんです。それと、私は寝つきがとてもいいんですよ。頭を悩ませる課題は多々あるのですが、それでも布団に入ってから眠るまでの時間は、1分か2分くらいではないでしょうか。いつ眠ってしまったのかも覚えていないほど、スーッと眠ってしまいますし、目覚めもすこぶる良いんです。これは特技でも何

でもないのですが、自分でも「いいな」と思っていることの一つです。

### 健康の面で気をつけていることはありますか。

お酒を飲む機会は多く、結構、量も飲みますが、お酒の席がある日でも12時には家に着くように切り上げようと心がけている、ということくらいでしょうか。翌日、万全の体調で仕事に臨むためには、このペースが良いようです。それに睡眠時間もしっかり確保したいですからね。

お医者さまには「少し体重を減らすように」と言われているので、これまでも何度かスポーツクラブに入会したことがありますが。しかし、中学時代から水泳や剣道、ゴルフと、ずっとスポーツは続けてきたので、体を動かすことは好きなのですが、スポーツクラブとなると、いつも1、2回で挫折してしまっただけですね。通い続けるには根性が必要のようです。国分町のクラブは通い続けているのですが（笑）。

### 長期休暇を取ることができたり、やりたいうことはありますか。

旅行に行きたいですね。いまから10年以上前になりますが、高校時代の友人が赴任していたニューヨークに、何度か遊びに行ったことがあります。美術館巡りしたり、ローカル線に乗ってワシントンDCまで行ったり。英語が得意ではないので、乗った電車がいつまでも発車しなかったり、一度搭乗した飛行機から訳も分からず降ろされたり、英語が分からないという怖い思いもこっているから分からないという怖い思いもしましたけれども、何とかなるものです。

また国内は、仙台商工会議所の青年部や仙台青年会議所の事業などで、ほとんどの地域を訪れたというぐらい、いろいろなところへ行きましたが、今後プライベート旅行をするなら、また長崎に行ってみたくですね。以前行ったとき、会合の合間にスーツ姿の男5、6人でグラバー園を散策したのですが、修学旅行生の女の子たちにジロジロと見られまして（笑）。良い思い出にはなりましたが、今度は仕事抜きでのんびり訪ねてみたいですね。

### 最後に、お仕事の近況を教えてください。

仙台市地下鉄東西線の開業や仙台空港の民営化などで、今後は人の流れも仙台のまちも大きく変わっていくと思いますので、その流れの中でタクシーを利用しにくくなる方が増えることも大いに期待しています。特に、弊社は元々、岩沼で祖父が興した会社で、仙台空港は以前から営業の大きな拠点でしたから、まちの変化、時代の変化を敏感に捉えて、対応策を考えていかなければならないと考えています。

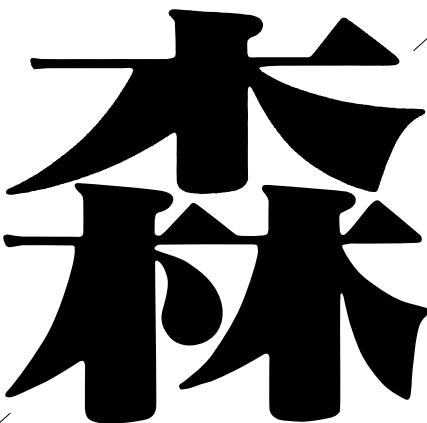
最近では、タクシーもただの移送手段というだけではなく、付加価値をどんどん付けていかなければならない時代です。タクシー業界というのは面白いもので、第2、第3の職場として働く方が多いのですから、前職が英語を使う職業でスラスラ話せるだとか、ホテルに勤めていて接客が得意、歴史好きで観光タクシーの役割も果たせるなど、これまでのキャリアや特技を生かしながらドライバーを務める方も多くおります。しかし、今後は業界全体としてさらにレベルアップしなければなりませんので、これまで以上に、人材教育に力を入れてい



仙台商工会議所青年部のメンバーで上海を訪れた際の一枚(2005年2月)。

きたいと考えています。また、関東地域では東京オリンピックを見据えて、ユニバーサルデザインの車両（以下、UD車両）をタクシーに導入する動きが活発になっていきます。将来的には仙台・宮城のタクシーも、UD車両へと切り替わっていくことになるでしょう。小さいお子さんも車いすの方も、誰もが安心して乗車できるようにすることは必要なことです。いま、タクシー業界はライドシェア（一般ドライバーがマイカーを使い有料でお客様を送迎すること）などさまざまな課題が山積していますし、困難な状況はまだまだ続くと思います。それでも、新しい年はこのままの営業の形態が大きく変わる転換期と捉えて、自分たちも大きく変わっていかねばならない一年になるだろうと思います。ドア・ツー・ドアのサービスができるのはタクシーだけですので、公共交通機関を担う一員として、今後もその使命を果たしていきたいと思っています。

## 『森』は生きています。人間と共に。



二酸化炭素を酸素に。人間にとって欠かせない酸素を、人間が吐き出した二酸化炭素から作り出す植物たち。この自然のサイクルを、一本の木を、そして森全体を、見守っていかなくては……。そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす  
**AOBA 青葉環境保全**  
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)